

豊松苑新聞

介護老人
保健施設
豊松苑
電話(083)
259-7381

新年のごあいさつ



あけましておめでとうござ
います。

この新聞を読んでくださつ
ている皆様におかれまして
は、ご健勝にてお過ごしの一
ととお喜び申し上げます。

私がここに就職したのが平
成13年ですので勤務して16年
目になります。作業療法士と
して働きながら、昨年8月よ
り施設長としての役割も担う
ことになりました。ご存知の
ように老健施設は在宅復帰施
設です。こればかりは変わり
ようのない現実ですが、豊松
苑自体はかなり柔軟性のある
サービスを展開できるように
なってきました。わからない
ことがありましたら、支援相
談員にお尋ねください。

話は変わりますが、豊松苑
新聞は今年で15年目になりま
す。立ち上げから関わって
いますが、こちらも少しずつ進
歩しております。皆様をご覧
になるのはほんの一部だけで
すが、楽しく手にしてもらえ
るように広報委員が頑張つて
くれています。皆様からのご
助言をいただきながら成長さ
せていきたいと思っております
ですので、忌憚のないご意見を
いただければ幸いです。

利用者様の社会復帰を図り
つつ、支援されるご家族の想
いも踏まえたサービスが展開
できるよう精進してまいりた
いと考えておりますので、今
後ともご理解・ご協力の程、
よろしくお願いいたします。



初詣会

今年も豊松苑神社を構え、初詣会を
開催しました。利用者様お一人お一人、
職員が扮する神主と巫女に見守られな
がら思い通りの願いを熱心に祈願され
ました。

その後、おみくじを引き「大吉だ」
などと笑顔で喜ばれる利用者様をみて、
職員も幸せな気持ちになりました。
今年一年利用者様がお元気で安心し
て過ごしていただけるよう、職員一同
願っております。



豊松苑神社

第22話

すたっふの ○○○な話

リレー二十二人目は、介護職員の
平尾 未来さんからの指名で、
森 裕之さんです。
では、どうぞ！



時が経つのも早いもので私が入社して二
年が経ちますが、利用者様やご家族様、共
に働く職員のおかげでこうして無事に新し
い年を迎えることが出来ました。皆様には
この場をお借りしてお礼申し上げます。
私たちがさせていただいてる「介護」と
いう仕事ですが、この「介護」という言葉
は、1980年代に「介助」と「看護」と
いう二つのものを合わせて作られたそうで
す。そう考えると介護の歴史はわずか30余
年ということになります。その間に日本の
高齢化はかなり進んでおり、世界でも稀に
みる高齢化社会になっております。

その中で、豊松苑でのサービスの質を保
ち、更上げていくために職員同士の連携
をしっかりと取り、利用者様やご家族様に満
足していただけるようなサービスの提供が
出来るよう、支援させていただきます。

次の回は、理学療法士の
植田 麻里さんです！



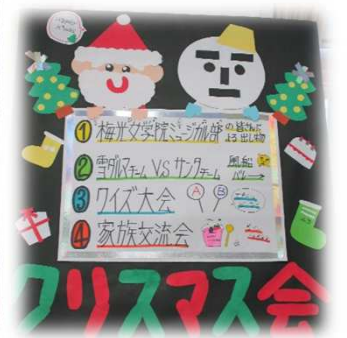
しょうゆ顔に憧れます。

ひろみ

クリスマス会



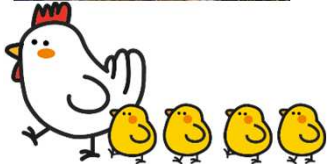
昨年12月20日、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。梅光学園のミュージカル部の生徒さんが歌と踊りを披露してくださいました。利用者さまもリズムに合わせて体を動かしたり、手拍子をして楽しみました。中には、感激して涙する利用者様もおられました。他にも、皆で楽しめる風船バスケットや豪華景品があたるクイズなど、ご家族様や梅光学園の生徒さんが参加してくださいました。おかげで大いに盛り上がったと思います。利用者様のなかにはクリスマス会よりも閉会後のケーキを楽しみにされている方もいらっしゃり、「ケーキはまだか」と言われる方もいらっしゃいました。皆様のご協力のおかげで今年も無事クリスマス会を終えることができました。参加いただいた御家族の皆様ありがとうございました。



編集後記

▼今年の初詣はおみくじで大吉を引きました。久しぶりの家族水入らずで「何を引いたの？」と話はずんずんで楽しい正月になりました。利用者様の初詣会は笑顔に包まれ、楽しい一年のはじまりとなったのではないのでしょうか。

▼今年「とり」年です。太陽が昇るときに必ず鳴くため、太陽の神を呼ぶ力があるとされています。また酉は幸運や金運を「とり込む」につながると言われているので、縁起の良いことが起こりそうかなんか感じますね。今年も利用者様と共に寄り添って「良い一年だったね」と言えるよう努めていきたいと思えます。



今後の活動予定

～ご家族へのメッセージ～

3月7日
14時～
ひなまつり会